

## ～ 鉦工業指数ってなに？～

### ★鉦工業指数とは

鉦工業指数は、景気や経済の動きを把握することを目的としており、県内の製造業の事業所における毎月の生産、出荷、在庫を基準時の水準を 100 とした指数で表しています。工業統計や経済センサスが年単位の調査であり、成果物が出来るまでに時間がかかるのに対し、鉦工業指数は月単位の調査であり、経済活動の動きを表す統計のなかでは、公表が最も早いものの1つです。

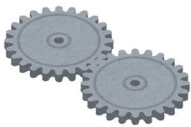
### ★鉦工業指数の分類

日本標準産業分類に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「財分類」の2分類により公表をしています。本県では、以下の業種分類により、指数値を公表しています。

#### ①業種分類

##### ○鉄鋼業

粗鋼、鉄系鍛工品など



##### ○非鉄金属工業

電線、ケーブルなど



##### ○金属製品

軽量鉄骨、ばねなど



##### ○汎用機械工業

玉軸受、一般用バルブ・コックなど



##### ○業務用機械工業

医科用機械器具、カメラ用三脚など

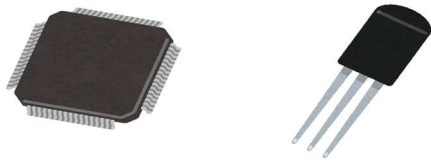


##### ○生産用機械工業

数値制御ロボット、射出成形機など



○電子部品・デバイス工業  
集積回路、トランジスタなど



○電気機械工業  
交流電動機、サーボモータなど



○情報通信機械工業  
交換機、電子計算機など



○輸送機械工業  
自動車用機械部品、ブレーキ装置など



○窯業・土石製品工業  
コンクリート製品、マスクプレートなど



○プラスチック製品工業  
プラスチック製日用品・雑貨、  
プラスチック製フィルムなど



○紙・紙加工品工業  
封筒、段ボール箱など



○繊維工業  
羽毛・羽根ふとん、ニット製外衣など



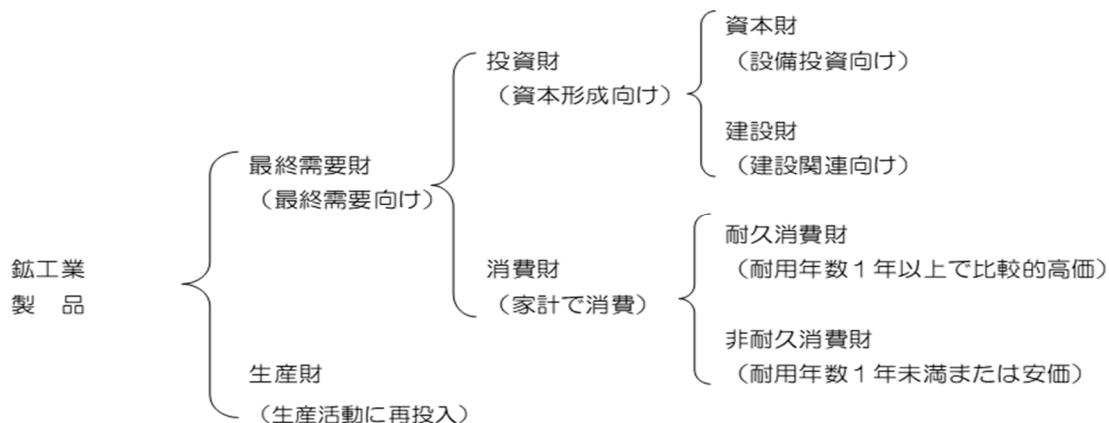
○食料品工業  
ミネラルウォーター、パンなど



○その他工業  
木製家具、貴金属製品など



## ②財分類



## ★鉱工業指数の見方

### ○指数の見方

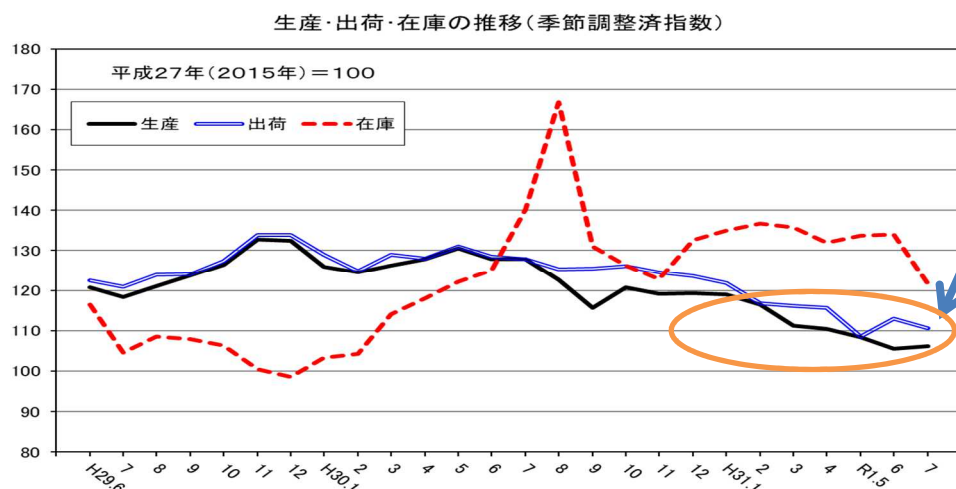
たとえば、一般的に

景気が良くなる → 需要が増加 → 生産が増える！

景気が悪くなる → 需要が減少 → 生産が減る！

といったように景気や経済の動きをみる事が出来ます。

最近の生産の指数の動きをみると、ここ数ヶ月は右肩下がり傾向を示していることが分かります。



指数は基準の年を100とした比率で表します。現在は、平成27年(2015年)を基準年としています。

これは、令和元年7月分の鉱工業指数です。

(平成27年=100)

		季節調整済指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)	全国
鉱工業	生産	106.1	0.6	△ 16.0	102.7
	出荷	110.6	△ 2.1	△ 12.3	102.5
	在庫	121.6	△ 9.3	△ 13.3	104.5

季節調整済指数とは、原指数(実際の数字)から景気の動向と関係ない季節的変動要素を調整した指数。

前月比は、季節調整済指数を使用し、前年同月比は、原指数を使用して計算しています。

(たとえば、ビールは1月と8月では、8月の方が季節柄、生産が多くなるのは当然なので、実際の数字ではなく、季節調整済指数によって比較します。)

○業種別の見方

令和元年7月分の生産指数は、106.1で前月比0.6%と上昇しましたが、これを業種別にみると以下のようになります。

(業種別の前月比)

業種	令和元年
	7月
鉄鋼業	0.2
非鉄金属工業	8.8
金属製品工業	△ 15.6
汎用機械工業	4.0
業務用機械工業	39.8
生産用機械工業	9.5
電子部品・デバイス工業	0.4
電気機械工業	△ 21.3
情報通信機械工業	△ 20.9
輸送機械工業	3.6
窯業・土石製品工業	△ 5.0
プラスチック製品工業	4.8
紙・紙加工品工業	△ 2.3
繊維工業	1.1
食料品工業	3.7
その他製品工業	4.7
前月比上昇の業種数	11
前月比低下の業種数	5

○上昇した主な業種

業種	前月比	寄与度
	(%)	(%ポイント)
生産用機械工業	9.5	1.85
業務用機械工業	39.8	1.38
食料品工業	3.7	0.60

○低下した主な業種

業種	前月比	寄与度
	(%)	(%ポイント)
電気機械工業	△ 21.3	△ 3.41
情報通信機械工業	△ 20.9	△ 1.29
金属製品工業	△ 15.6	△ 1.15

上昇は11業種、低下は5業種であり、その中でも生産用機械工業の上昇が全体の上昇に大きく寄与したと読み取れます。

※寄与度は、全体の増減に対してその内訳である業種や品目の影響の度合いがどれだけかを示しています。

★鉱工業指数の利用

国の鉱工業指数は、内閣府作成の「月例経済報告」や「景気動向指数」にも利用され、また、本県の鉱工業指数は、日本銀行甲府支店作成の「金融経済概観」、山梨中央銀行作成の「調査月報」等、様々な経済分析に利活用されています。

詳細は、「やまなしの統計」 [https://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/index.html](https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/index.html) をご覧下さい。

## 山梨県 県民生活部 統計調査課 商工業担当

電話：055-223-1341

E-mail: toukei@pref.yamanashi.lg.jp